

学習したことを関連付け、自分の地域や生活についての考えを深める児童の育成 —「くらべるシート」の作成や友達との意見交流を通して—

授業実践 5年社会 「これからの食料生産とわたしたち」

特別研修員 社会 富永 正明 (小学校教諭)

【児童の実態】

学習したことを自分の地域や生活と関連付けて考えることが少ない。



【教師の願い】

学習したことを自分の地域や生活と関連付けて考え、地域や生活についての考えを深めさせたい。



【単元の学習課題】

「日本の食料生産の課題を解決するために、わたしたちに何ができるだろう。」

手立て①

自分の地域や生活と関連付けるための「くらべるシート」の作成

◆追究では「くらべるシート」に学習内容に関する資料(今日の一枚)や振り返り(今日の一言)を蓄積していく。

今日の一枚

単位時間のまとめに関連する資料のデータを貼る。

今日の一言

単位時間の学習内容について考えたことを入力する。



【今日の一言】

全国で地産地消の取組が行われていると分かった。食料自給率を上げるためにもこの取組は大切だな。

◆まとめでは単元の学習課題を解決するために、くらべるシートを使い自分の地域や生活と比較・関連付ける。

これまでの学習



藤岡市や自分の生活の似ている取組



比較

関連付け

活用

【児童の考え】

全国で地産地消の取組が行われている。私たちの学校近くのお店でも、地域で生産された野菜がたくさん売られていて、同じような取組をしていることが分かった。学習したことと、自分の地域につながりがあることが分かった。

手立て②

「くらべるシート」を使った友達との意見交流

- ◆「くらべるシート」を使い、蓄積した資料を根拠に地産地消について意見交流する。
- ◆意見交流の際、相手の考えに対する感想を伝えたり質問をしたりすることで考えを深めていく。
- ◆意見交流を基に自分の考えをまとめる。



地産地消にはいろいろなよさがある。日本の食料生産の課題を解決するために、**たくさんの人に知ってもらうことが大切だな。**

近くの地域で作られているから**野菜**などが新鮮で、作った人も分かる工夫がしてあるから、安心して食べることができるよさがあるね。

近くの市や町で生産された物の方が、他の県や外国よりも輸送距離が短いから、地産地消は「**環境にやさしい**」というよさもあるね。

【自分の地域や生活についての考えを深めた児童の振り返り】

日本の食料生産の課題を解決するためにわたしたちにできることは、**地産地消のよさを多くの人に知ってもらうこと**だと思います。買う人にとって**新鮮で安心感があり、地球環境にもやさしい**という地産地消のよさを**多くの人に知ってもらうこと**で、**国産の食べ物**がさらに売れ、日本の食料自給率を高めることにつながると思うからです。

《目指す児童像》

学習したことを関連付け、自分の地域や生活についての考えを深める児童



【成果 (○) と課題 (▲)】

- 「くらべるシート」を作成したことで、**学習したことを自分の地域や生活と比較・関連付けることが容易**にできた。
- 「くらべるシート」を使って意見交流したことで、**学習したことを基に自分の考えもち、対話する姿が見られた**。
- 「くらべるシート」の作成や友達との意見交流を通して、**自分の地域や生活について考えを深める姿が見られた**。
- ▲意見交流の際、資料と自分の考えを関連付けてから伝えさせると、より考えを深めさせることができる。